

□■ 2009年 年頭のご挨拶 ■□

(社)情報通信設備協会 東海地方本部
地方本部長 澤田 政英

明けましておめでとうございます。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、当協会の事業運営につきまして格別なご理解とご支援を賜わり厚くお礼申し上げます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

米国のサブプライム住宅ローン問題に端を発し、世界のグローバル化により僅か数ヶ月の間に、百年に一度と言われる誰も経験したことのない世界同時不況に見舞われました。昨年は上場企業の倒産が11月時点で累計30件に達し、2002年(29件)を上回って戦後最多を更新しました。

この不況は当分続くだろうと言われております。

政府は、景気対策として、「ばら撒き」(既得権益による予算の奪い合いの末路)といういつもの方法で解決を図ろうとしておりますが、国の借金がより膨大になるいつもと同じ結果になるだけだと思います。政治のリーダーシップが本当に望まれるのですが、現状では残念ながら期待は持てません。

また、殺傷事件の増加や環境問題などなど、政治、経済、社会、全ての面で閉塞感が蔓延しております。この重度な問題を解決してゆくには、この現状から逃げないで、しっかり見据え、「引き受けてゆく覚悟」が一人でも多くの人に必要なことであると思います。

さて 私たちを取り巻く情報通信業界の動向は、NGN(次世代ネットワーク)の商用サービスが本年は、ご当地東海エリアを含め、政令指定都市へ拡大が図られます。

当協会本部において、一昨年、事業会社V2Sを立上げ業界初のFMCサービスを提供し、健闘しているところです。

この先、携帯電話(第3.5世代)の普及、フェムトセルの本格展開、WiMAXや次世代PHSのサービス開始等、ネットワークは更に進化し速度を速めIPベースのネットワークにシフトしつつありますが、期待される通信と放送の融合である「情報通信法(仮称)」がここでも既得権を主張し、なかなかまとまりません。

しかし、技術的変化は当分の間続くと思われまますので、「教育の充実」が今後も不可欠となってまいります。当協会の研修で実施している、L2、L3 スイッチング設定を実機で行う実践コースを「情報ネットワークプランナー(マスター)」として一昨年より新設し好評であり、本年においても技術動向を把握しつつ、実施してまいります。

又、今後益々、他業界との競争も熾烈になることが予想されますが、各会員企業が継続、発展し、その従業員の皆さんが明るく元気になってゆくために、通信インフラで培ったノウハウを十二分に生かし、かつ会員各位の「知恵の結集と連携」ができれば、それは叶うと考えております。

皆さんと手を取り合い、協働し、魅力ある協会にしてゆくため、みなさんのご協力と知恵をお貸しいただくことをお願いし、新年の挨拶とさせていただきます。 おわり